

小呂湿地周辺案内図



湿地内を踏み荒らさないように、木道が整備されています。湿地では、それぞれ特徴的な動植物を見ることが出来ます。

各湿地の保全目標

- A 湿地：多様な湿地性動植物が見られる湿地
- B 湿地：多様な水生昆虫が見られる湿地
- C 湿地：湿地性の植物にチョウが訪れる湿地
- D・E 湿地：手を加えずに自然のままに保存する

小呂湿地の動植物



6月
名前のとおり薬草として知れ、うつむいた形の白い花を咲かせます。

(NT)



6月～9月
食虫植物の1種で、葉から分泌される粘液で昆虫を捕食する。東海丘陵要素植物の1つ。桃色の花を咲かせます。



7月～8月
湿地に生える多年草。沼に生える虎の尾という名前のとおり、多くの白い花が尾のように連なって咲きます。



8月～9月
湿地に生える多年草で、茎の上部に紫色の美しい花を多く咲かせます。

(NT)



8月～10月
湿地に生える多年草で、淡い紅紫色の花を茎の上部に多数つけます。



9月～10月
うつむいて咲く花頭のようながキセル(煙管)に似ているのでこの名がつけました。



繁殖期 早春
体長約3～7cm。背面が赤褐色のカエル。カエルの中では最も早く1月末には産卵します。

(VU)



4月～6月
体長約4cm。春から初夏にかけてよく見られるトンボです。オスは成熟すると青白い粉を帯びようになります。



8月～9月
地下茎につけた捕虫囊でプランクトンなどを捕食する食虫植物で、紫色の小さな花を咲かせます。

(NT) (VU)



7月～8月
ラン科の植物で、シラサギが羽根を広げたような3cmほどの白く美しい花をつけることからその名がつけられました。

(VU) (VU)



6月～8月
体長約2cm。日本でもっとも小型のトンボです。オスは成熟すると鮮やかな赤色になります。

(NT)



5月～6月
体長約6mm。幼虫は、湿地に生育するスゲ類の根を食べます。

(NT)



3月～4月
葉が地表から放射状に広がり、茎の先に桃色から赤紫色の花が球状になって咲きます。



6月～7月
茎の先に黄褐色(柿色)の10個ほどの花を咲かせます。

(VU)



7月～10月
湿地に生える多年草で、夏になると黄色の花を咲かせます。

(NT) (EN)



10月～11月
日当たりの良い湿った草地に生える多年草で、2cmほどのウメのような白色の花を咲かせます。

(VU)



6月～7月 9月～10月
後翅の裏側が緑を帯びたヒョウモンチョウ。アザミなどの花を訪れます。



6月～10月
日本産ジャノメチョウ類の最大種。朝と夕や曇天時に活発に活動し、日陰や樹間を好んで飛翔します。

(NT) (NT)